



学校広報ソーシャル
メディア活用勉強会

第8回GKB48教育カンファレンス

「どうなる日本？どうする教育？
～探究と高大社連携の可能性」

WEB版

日時 2023年8月27日(日) 10:30～17:30

会場 明治大学アカデミーコモン8F

主催 学校広報ソーシャルメディア活用勉強会
共催 一般社団法人ファーストスタープロジェクト
運営 株式会社シンクアップ

はじめに

本日、コロナ禍で中断していたGKB48教育カンファレンスを4年ぶりに開催できることを、うれしく思います。

学校広報ソーシャルメディア活用勉強会（通称 GKB48）は2011年に発生した東日本大震災を契機に顔が見える関係を作っていくことの大切さに気付き、相互に情報の受発信の機能に優れたソーシャルメディアを使った広報ができないかという勉強会の呼び掛けによってスタートしました。

小・中・高・大や国公立の区別なく、学校と社会の区別なく、それらの所属する組織を離れてフラットに対話することを基本としました。リアルな勉強会とともにFacebookに非公開のグループを作って参加者を募ったところ、当時のブームに乗ったということもありましたが、会員数が一気に増え、毎日、教育をめぐるディスカッションが行われました。また、SNSの運用ガイドライン作成や炎上対策などの実務上のアドバイスも盛んに行われました。肩書に関係なく「さん付け」で呼ぶことにしています（さん付けルール）。これがGKBのオープンな雰囲気を作りました。

クローズドな勉強会でしたが、もっと開かれた形で、教育の現場で改革の最前線に立って活躍するイノベーターの話をみんなで聞いてみたいというアイデアが出て、最初の勉強会から一年後に「GKB48教育カンファレンス」になりました。1テーマでプレゼンテーション・パフォーマンスするTED形式のカンファレンスです。とにかく、メンバーが話を聞きたい人や活動を発掘してきて、登壇してもらいました。運営はみんながボランティアで行っています。このやり方はその後も続いています。

今回はコロナ5類移行が5月ということもあり、準備に十分な時間が割けませんでした。にもかかわらず、多くの方の協力によって開催に漕ぎつけました。本当に、協力いただいている皆さんに心から感謝申し上げます。

さて、8回目となる今回のテーマは世相を反映して『どうなる日本？どうする教育？』としましたが、それでは漠然としているので「探究と高大社連携の可能性」というサブテーマを設けました。「探究」「研究」を軸に初等・中等・高等教育が「連携」して何かを生み出せないかということに参加者と考えてみたいと考えています。今回はコロナ禍があったことで進展したオンライン教育の成果を問う意味でも会場とオンラインをZoomで結び、6人の登壇者の話を聞いた後に、対話セッションをグループ別にハイブリッドで行うというチャレンジングな試みをします。

カンファレンスを通じてGKBならではの共感が生まれ、セッションの合間や最後の懇親会でコラボレーションが生まれることを期待しています。

どうぞ、最後までお楽しみください。

学校広報ソーシャルメディア活用勉強会
事務局長（発起人） 山下 研一

目次

はじめに		
目次	01
プログラム	02
会場図	03
登壇者紹介	04
ワークショップ紹介	08
GKB48活動概要	14
協賛広告	16
GKB48書籍紹介	22

プログラム

全体司会 学校法人聖学院 広報センター 萩野紀之さん

SESSION1

プレゼンテーション午前の部 10:30～12:30

開会挨拶	10:30～10:40	GKB48事務局長・株式会社シンクアップ専務取締役 特定非営利活動法人マナビバ理事長 山下研一さん
プレゼン1	10:40～11:05	「教育機関とAI その付き合い方は?」 一般社団法人ファーストスタープロジェクト 理事長 渡邊純一さん
プレゼン2	11:05～11:30	「AIとこれからの教育」 青山学院中等部 情報担当講師 スタディサプリ情報 I 講師 安藤昇さん
プレゼン3	11:30～11:55	「新時代の高校教育と地域みらい留学 ～宮崎県立飯野高等学校の挑戦」 宮崎県立飯野高等学校 指導教諭 宮崎県スーパーティーチャー 梅北瑞輝さん
プレゼン4	11:55～12:20	「アメリカの大学の現在:カリフォルニアの事例報告」 埼玉大学 人文社会科学部研究科・教養学部 准教授 長沢誠さん

SESSION2

プレゼンテーション午後の部 13:30～14:45

プレゼン5	13:30～13:55	「デジタル変革はトラ。住民の笑顔のために。 ～今こそ必要な大人の学び直し:リスキリング」 内閣府クールジャパンプロデューサー 日本薬科大学 特別招聘教授 陳内裕樹さん
プレゼン6	13:55～14:20	「新たな教育振興基本計画から考える ～これからの日本の教育とウェルビーイング」 京都大学 企画部長 兼 プロボストオフィス室長 前 文部科学省 総合政策局政策課 教育企画調整官 川村匡さん
紹介	14:20～14:45	協賛企業・参加者紹介

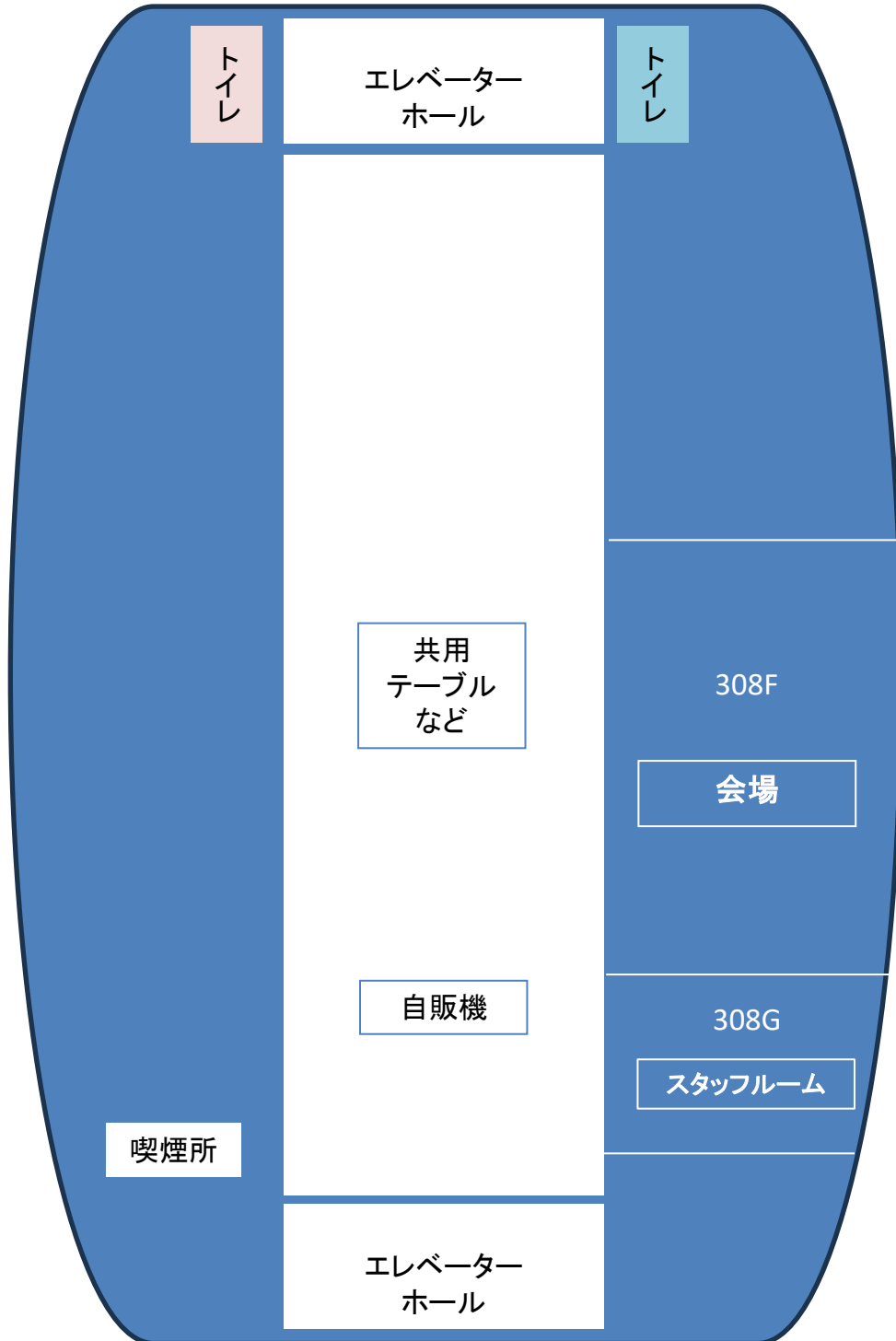
SESSION3

ワークショップ 15:00～17:30

ワークショップ	15:00～17:20	「対話型ワークショップ: オープンスペーステクノロジーで語ろう」 ファシリテーター 明治大学名誉教授 サービス創新研究所所長 阪井和男さん
開会挨拶 事務連絡	17:20～17:30	一般社団法人ファーストスタープロジェクト 理事長 渡邊純一さん他

会場図

明治大学アカデミーコモン 8F



注)会場内での食事はご遠慮ください。

登壇者紹介

(敬称略)

SESSION1

プレゼンテーション午前の部 10:30～12:30

開会挨拶



山下研一

GKB48事務局長・株式会社シンクアップ専務取締役
特定非営利活動法人マナビバ理事長

Profile

1954年、鹿児島県生まれ。東京大学農学部農業生物学科卒業。企画会社「クリエイトハウス」経営を経て、1997年から学校法人聖学院に勤務。広報センター所長、聖学院大学広報局長、聖学院評議員などを務め、2017年に退職。AIの動向から統計教育とデータサイエンス教育の重要性にいち早く着目し、「新しい構想に基づく大学の創設」を目的に株式会社シンクアップを共同創業。学校広報のコンサルテーションを基盤にしながら、ディープラーニングの先にある新たな学問の可能性を大学との共同のプロジェクトの中で目指している。「えいご村」キャンプを開催する特定非営利活動法人マナビバ理事長も務める。学校広報ソーシャルメディア活用勉強会GKB48発起人。

プレゼンテーション1



「教育機関とAI その付き合い方は？」

生成AI(ChatGPTなど)発表されて以来「教育の世界でどのようにAIを利用していくのか」という話題が後を立ちません。しかし、生成AIだけでなく、さまざまなAI技術は、まだまだ発展途上であり、今後どのように進化していくかは未知の部分が多すぎると感じています。そこで今回は、未来のAIの姿をアニメで表し、そのAIを具体化するにはどんな環境が必要となるのか、さらには、もしその環境が実現したら、教育機関にどんな影響をもたらす、変化が生まれるかを想像してみます。そして、その影響を受けた人はどう変容していくのかについても、一つの夢として語ってみたいと思います。

渡邊純一

一般社団法人
ファーストスタープロジェクト
理事長

Profile

1977年中央大学理工学部卒業。同年、中央大学へ入職。電子計算機センター(1992年にイリノイ大学客員研究員)、広報課、学生相談室、情報環境整備センターに勤務。その間に、大学公式Webサイト制作、教養TV番組『知の回廊』制作プロデュース、教育機関のICT環境構築(White Gateプロジェクト設立)を経て、2017年2月一般社団法人ファーストスタープロジェクトを設立、理事長に就任。同年4月からサービス創新研究所客員研究員。

プレゼンテーション2



「AIとこれからの教育」

OpenAIが開発したAIチャットツールChatGPT。

日本で初めて授業に導入し、それが生徒の評価方法を大きく変えた実践事例を紹介します。

安藤 昇

青山学院中等部 情報担当講師
スタディサブリ情報 I 講師
Microsoft Innovative Educator
Fellow2022-23

Profile

1968年栃木県生まれ。日本大学理工学部物理学科卒。AIを活用した教育の第一人者であり、多くの学校にてGIGAスクール導入マネージメントを担っている。最新テクノロジーを活用した教育への貢献が国内外に大きく評価され、2017年・2018年にはMicrosoft Innovative Educator ExpertsのMVPを受賞。現在は、プライベートスタジオを持ち、映像授業のクリエイターとしても活動し、2023年よりスタディサブリ講師として2025年大学入学共通テスト必履修科目「情報 I」講座を担当中。

プレゼンテーション3



「新時代の高校教育と地域みらい留学

～宮崎県立飯野高等学校の挑戦」

宮崎県立飯野高等学校では、文科省の「新時代に対応した高等学校改革推進事業」の指定校として、革新的な教育の実践・研究を行っています。生徒の個々の能力と興味に合わせた多様な学習プログラムを提供しており、生徒たちが自らのアイデアや創造力を最大限に発揮できる環境を地域との協働により実現している高校です。全国から生徒を募集する「地域みらい留学」も行っており創造的な思考力と社会的な責任感を育む場として、地域社会からも高い評価を受けています。

梅北瑞輝

宮崎県立飯野高等学校
指導教諭
宮崎県スーパーティーチャー

Profile

1978年えびの市飯野生まれ。2001年より宮崎県立高等学校教諭を務め、2008年、飯野高等学校に着任。現在は指導教諭（進路指導部長、キャリア教育推進リーダー）を務める。宮崎県からスーパーティーチャーの委嘱を受け、県内外で講師やアドバイザーを務めている。文部科学省の普通科教育改革・WWL連携の事業事務部長、地域みらい留学推進協議会理事、全国高校生マイプロジェクト宮崎事務局長などを務める。担当科目は地歴公民（日本史）。

プレゼンテーション4



長沢 誠

埼玉大学
人文社会科学部
人文科学研究科・教養学部
准教授

Profile

1976年生まれ。南カリフォルニア大学大学院修了。ニューヨーク州立大学博士課程単位取得満期退学。明治大学国際教育研究所研究員などを経て、2013年より現職。専門は大学国際化、高等教育論。主な著書として『パンデミックとアメリカの大学』（東信堂、共著、2023年予定）、「COVID-19がアメリカの大学にもたらした影響」（2020年、『東京大学大学院教育学研究科紀要』所収）など。

「アメリカの大学の現在：カリフォルニアの事例報告」

これまでコロナ禍におけるアメリカの大学を研究してきた登壇者が、長期在外研修のため滞在しているカリフォルニアから、同地域の大学の現状を伝えます。アメリカの大学がコロナ禍で受けた影響は、必ずしも日本と同じではありません。

コロナ禍を経て、現地の大学で実践されている「ニューノーマル」とは何か？ Chat GPTにみられる最新の技術革新は、教育・研究・大学運営にどのような影響を及ぼしており、これからどうなっていくのか？ さらに、コロナ禍に影響された期間中、志願者の進学意識や在学生の行動様式にどのような変化があったのか？

カリフォルニアの事例をもとに、日本の大学関係者に情報提供したいとします。

SESSION2

プレゼンテーション午後の部 13:30～14:45

プレゼンテーション5



陳内裕樹

内閣府クールジャパン
プロデューサー
日本薬科大学 特別招聘教授

Profile

コミュニティデザイナー。大手旅行会社にて市場開発、コンテンツ開発業務を歴任後、内閣府クールジャパン地域プロデューサーとして中央省庁、地方公共団体等のデジタル変革を通じた地方創生とデジタル田園都市国家構想の推進を支援。その他、東北芸術工科大学 客員教授、早稲田大学招聘研究員、自治体国際化協会プロモーションアドバイザー、北海道から沖縄まで多くの自治体首長の政策顧問・アドバイザーを務める。

「デジタル変革はトラ。住民の笑顔のために。」

～今こそ必要な大人の学び直し：リスキリング～

デジタル変革(DX)の言葉が一般化してきましたが、単なるデジタル化と混同して捉えられがちが多く課題だと感じています。人々のWell-being(幸せ)のため、ありたい姿を定義し、そのためには道具としてのデジタルを空気のように地域やビジネス、学校教育、広報のあり方等に”溶け込ませる”努力が求められます。

そのためには関係者それぞれ変化し続ける勇気と、DXの主人公はあなたである”自分ごと”を進めることが急務であり、特に管理者層の意識改革が求められます。

このセッションでは、DX推進のツボを行政事例を交えてお話しします。

プレゼンテーション6



川村 匡

京都大学 企画部長
兼 プロボストオフィス室長
前 文部科学省総合政策局
政策課 教育企画調整官

Profile

1978年、高知県生まれ。2003年、文部科学省入省。高等教育局、初等中等教育局、生涯学習政策局、大臣官房総務課広報室を経て、京都工芸繊維大学に外向。その後、文部科学省高等教育局、文化庁を経て、2022年より総合教育政策局政策課にて、新たな教育振興基本計画の策定に携わる。2023年7月より現職。

「新たな教育振興基本計画から考える ～これからの日本の教育とウェルビーイング」

2023年6月に国の新たな教育振興基本計画が策定されました。第4期となる今回の計画は、コロナ禍を経て、これから5年間の教育政策の方向性と具体的施策を定めるものです。

今回の計画のコンセプトは「持続可能な社会の創り手の育成」と「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」。地球規模の課題や少子化の進行、グローバル化や格差拡大が生じる中で、私たちはどのような教育の在り様を目指すべきでしょうか。

今回の計画でキーワードとなったウェルビーイングの概念も交えつつ、国が目指す教育のビジョンをお話します。さまざまな立場から議論し、対話を進めるための契機としていただきたいと思います。

SESSION3

ワークショップ 15:00～17:30

ワークショップ



ファシリテーター 阪井和男

明治大学名誉教授
サービス創新研究所所長

Profile

1952年和歌山市生まれ。1977年東京理科大学理学部物理学科卒。1979年同大学院理学研究科修士課程物理学専攻修了、1985年同博士課程退学(6年間在籍)。1987年理学博士(論文)。SEやライター等を経て1990年明治大学法学部専任講師。1993年助教授、1998年教授、2023年名誉教授。情報コミュニケーション学会顧問等。

「対話型ワークショップ： オープンスペーステクノロジーで語ろう」

参加者がプレゼンテーション等のテーマに関連し、グループディスカッションをします。GKB48ならではの、学校・企業のフラットな出会いと気づきの場です。

「オープンスペーステクノロジー」の対話の方式を利用して実施、会場・オンライン、いずれからでも参加できます。

※P8より、2019年、GKB教育カンファレンスで実施した際の資料を抜粋して掲載しました。今回は会場・オンライン参加者と一緒に行う形式になりますが、参考にしてください。



「個」を強くする大学。
We strengthen the individual.



明治大学
MEIJI UNIVERSITY

対話型ワークショップ： オープン・スペース・テクノロジー

2023年8月27日
明治大学 名誉教授 阪井 和男



オープンスペーステクノロジー

- 1985年ハリソン・オーウェン氏 (Harrison Owen) によって提唱
- **全員が一堂に会して話し合う**ホールシステム・アプローチの代表的な手法
- OSTは参加人数の多少に関わらず、人々の**コミットメント**を引き出し、**主体的な話し合い**を通して垣根を越えた問題解決への取り組みを促す

http://www.humanvalue.co.jp/hv2/our_theory/ost/ost.html#subpagetop (2017年8月21日アクセス)
オーエン、ハリソン、『オープン・スペース・テクノロジー：5人から1000人が輪になって考えるファンリテーション』、ヒューマンバリュー訳、ヒューマンバリュー、2007年1月30日。原著：Owen, Harrison, "Open Space Technology: A User's Guide", 3rd ed., Berrett-Koehler, 2008 (First published by Abbott Publishing in 1992).

2023年8月27日

明治大学 阪井和男

2



オープン・スペースの原理

- オープン・スペースの実施の中心には、その原動力となる「**サークル**」があります
 - サークルは、中心を示し、お互いの顔を見合えることを可能にし、発言の順番を無くし、権威や力の関係を省きます
 - 参加者たちは、誰も正解を持っていません
 - 正解を持っているという瞬間に「コントロール」の世界に入るから
 - あらゆる「コントロール」を存在させません
 - すべてが自然発生的です
 - 普遍的に「正しい」と思っている事実さえもが、ある人にとっての「正しさ」でしか過ぎないということを体験して理解する場になるでしょう

http://www.humanvalue.co.jp/hv2/our_theory/ost/ost.htm#subpagetop (2017年8月21日アクセス)
オーエン・ハリソン、『オープン・スペース・テクノロジー: 5人から1000人が輪になって考えるファンクショナル』、ヒューマンバリュー訳、ヒューマンバリュー、2007年1月30日。原著: Owen, Harrison, "Open Space Technology: A User's Guide", 3rd ed., Berrett-Koehler, 2008 (First published by Abbott Publishing in 1992).

2023年8月27日

明治大学 阪井和男

3



4つの原則と1つの法則

- オープンスペーステクノロジーの4つの原則
 1. ここにやってきた人はだれもが適任者です
 2. 何が起ころうと、起こるべきことが起きます
 3. 始まるべき時に始まります
 4. 終わるべき時に終わります
- 1つの法則「主体的移動の法則」
 - 参加者はどのテーマに参加することも自由で、場に貢献できないと感じたときには**自由に移動**できます
 - じっくりと話を聴いたり、次から次へと飛び移ってより多くの情報を参加者に提供したり、**貢献の仕方は自由**です

https://www.ourfutures.net/session_methods/ost (2017年8月21日アクセス)

2023年8月27日

明治大学 阪井和男

4



「本日のスケジュール」の提示

- 15:00-15:15 オープニング(15')
- 15:15-15:30 アジェンダ形成・マーケットプレイス(15')
- 15:30-16:50 セッション(80')
※休憩はセッション中に随時とってください。
- 16:50-17:20 シェア(&アクションプラン)&講評(30')

2023年8月27日

明治大学 阪井和男

5



方法

1. 参加者全員で円になる
(円の真ん中に紙を置く(A4白紙など)
→グラフィックファシリテーターが代替)
2. 提案したいアイデアが浮かんだ人から
真ん中に来て発言(紙を取ってアイデアを
書き、読み上げたあとで壁に貼り出す)
→グラフィックファシリテーターが描く
3. これを繰り返し、アイデアが出なくなった
ところでストップ

<http://jibunhack.com/10328/> (2017年8月21日アクセス)

2023年8月27日

明治大学 阪井和男

6



コミュニティ掲示板の開設

- 全員の自分が話し合いたいテーマをカードに書いて、コミュニティ掲示板に貼り出します
→グラフィックファシリテーターが代替
- テーマを出した人に、なぜその話をするか説明をしてもらいます
 - もし、多くなりすぎるようなら、話し合っただけテーマを統合します
- 参加者から、関心のあるテーマについて考えたというテーマ提起者を募集します

<http://nswcb.cocolog-nifty.com/blog/2009/12/post-2add.html> (2017年8月21日アクセス)

2023年8月27日

明治大学 阪井和男

7



コミュニティ掲示板

ワークショップ会場

時間	ブレイクアウト・ルーム	
場所	15: 25-16: 45	19: 00-20: 20
テーブル A	テーブルA 15:30-16:50	テーブルA 19:00-20:20
テーブル B	テーブルB 15:30-16:50	テーブルB 19:00-20:20
テーブル C	テーブルC 15:30-16:50	テーブルC 19:00-20:20
テーブル D	テーブルD 15:30-16:50	テーブルD 19:00-20:20
§	§	
ラウンジ	ラウンジ 15:30-16:50	

【マーケットプレイス】

①自分が話し合いたいテーマをA3用紙に書く
 ②ブレイクアウト・ルームのポストイットを1枚テーマシートに貼る
※ブレイクアウト・ルームの該当箇所は自分のテーマを書いたポストイットに張り替える
 ③テーマシートをコミュニティ掲示板に張り出す
 ④参加者は関心のあるテーマに参加希望のポストイットを貼る

コミュニティ掲示板

2023年8月27日

明治大学 阪井和男

8



セッション

- テーマごとに分かれて、テーマ提起者を中心に対話を行ないます
 - 参加者は、貢献できない、関心がないと感じたら、自由に他のテーマ場所へ移動できます
 - 「**チョウチョ**」と「**ハチ**」*
 - 「**チョウチョ**」のように休憩所に止まっていることで、多くの人とコミュニケーションし、関係性を円滑にします
 - 「**ハチ**」のように次から次へと課題を飛び移ることで、より多くの情報を参加者に提供するという貢献ができます

https://www.ourfutures.net/session_methods/ost (2017年8月21日アクセス)

*http://www.humanvalue.co.jp/hv2/our_theory/ost/ost.html#subpagetop (2017年8月21日アクセス)

2023年8月27日

明治大学 阪井和男

9



ハーベスト(収穫)

- 対話を通じて共有された気づきや次のアクションなどを、テーマごとに議事録や壁新聞にまとめます
 - ➔ グラフィックファシリテーターが代替
- 車座に戻り、全員で各テーマの対話の内容を共有します

https://www.ourfutures.net/session_methods/ost (2017年8月21日アクセス)

2023年8月27日

明治大学 阪井和男

10

第7回GKB48教育カンファレンス(2019)より

オープニング



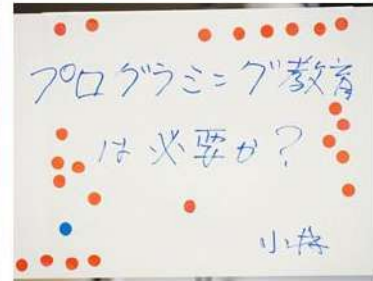
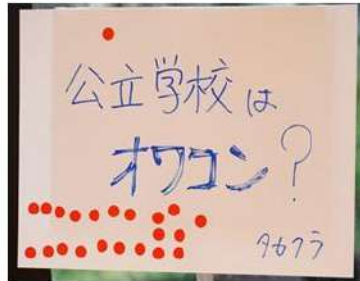
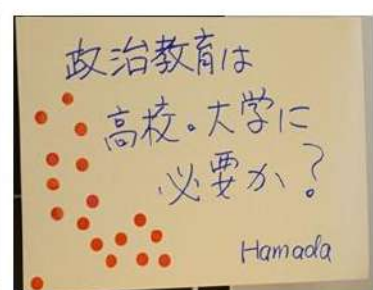
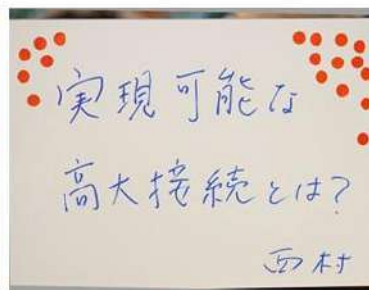
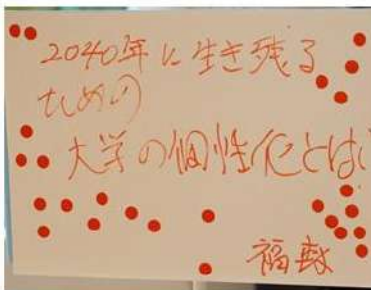
セッション



ハーベスト



第7回GKBカンファレンス(2019)で 話し合われたテーマ



GKB48活動概要

学校広報ソーシャルメディア活用勉強会（通称 GKB48またはGKB）の設立は2011年8月。これまでの歩みをご紹介します。

年度	月日	活動
2011	8/26・27	第1回勉強会(埼玉・大宮ソニックシティ) 「それぞれの現場におけるソーシャルメディアとの関わり、現状の問題点、可能性について」 ※同一内容を2日開催(参加者 計30名程度)
	8/29	Facebook上に、グループ(非公開)開設
	9/27	第2回勉強会(東京・日本教育大学院大学) 「ソーシャル化するとは何か～ステークホルダー別ソーシャルメディア活用法」
	11/25	第3回勉強会(大阪・追手門学院 大阪城スクエア) 「これからのSNSの活用方法とOGPについて」
	12/4	第4回勉強会(愛知・株式会社進研アド 中部支社) 「それぞれのソーシャルメディアとの今までの関わり方」 ※2011年度勉強会は他2回開催
	1/15	GKB会員:300名
2012	6/16-17	遠野勉強会「災害時における大学間連携」(岩手・たかむろ水光園) ※東日本大震災被災地(釜石市、大槌町)視察、岩手県立大学見学も行った。 2012年度勉強会は、他3回開催
	8/9	公式サイト開設 gkb48.com
	8/23	第1回教育カンファレンス「これからの『教育』の話をしよう～教育改革×ソーシャルの力～」 東京会場:大日本印刷株式会社 DNP五反田ビル 大阪会場:追手門学院 大阪城スクエア ※大阪会場は、Ustreamにて中継
	10/23-25	韓国視察「e-Learning事情現地調査」(韓国・ソウル)
	3/22	文部科学省主催「大学等広報ネットワークフォーラム」(会場:文部科学省) ※全国の大学広報担当者を対象として開催。大学の取り組み事例発表、ワークショップ、懇親会等が実施され、多くのGKB会員が参加した。
2013	5/31	GKB書籍第1冊発行 『これからの「教育」の話をしよう～教育改革×ソーシャル力～』(発行:(株)インプレスR&D)
	6/7	GKBのTwitterアカウント開設 @GKB48Tweet
	7/12	勉強会(大阪・龍谷大学 大阪梅田キャンパス) 「学生広報最前線!学生は「使う」もんじゃなく、一緒に「走る」仲間です。」他 ※2013年度勉強会は、他3回開催。
	9/4	GKB会員:1,000名突破
	9/10	第2回教育カンファレンス「つながる教育、つなげる未来～教育改革×ソーシャルの力～」 東京会場:株式会社内田洋行 東京 ユビキタス協創広場 CANVAS 大阪会場:株式会社進研アド 大阪支社 ※大阪会場は、東京会場をライブ中継
2014	5/16	勉強会(埼玉・大宮ソニックシティ) 「2014年のソーシャル、そしてこれから ー半歩先の学校広報を多面的に(みんなの知恵で)考えるー」
	8/28	第3回教育カンファレンス「広がるつながり 広げる教育」 東京会場:株式会社朝日ネット 歌舞伎座セミナールーム 京都会場:京都工芸繊維大学60周年記念館大セミナー室 ※東京会場および京都会場をそれぞれ中継。

年度	月日	活 動
2014	8/29	GKB書籍第2冊発行 『つながる教育、つなげる未来～教育改革×ソーシャルの力』(発行:GKBパブリッシング)
2015	7/9	大学ポートレート勉強会(東京・明治大学) ※2015年度勉強会は他1回開催
2016	8/29	第4回教育カンファレンス「共感からコラボレーションへの飛躍 ——10年後の教育環境をイメージして——」 会場:株式会社内田洋行 東京ユビキタス協創広場CANVAS
	3/17	GKB書籍第3冊発行 『これからの「教育」の話をしよう2～教育改革×ICT力』(発行:(株)インプレスR&D)
2017	4/21	GKB書籍第4冊発行 『これからの「教育」の話をしよう3～教育改革×未来の教室』 (発行:株式会社インプレスR&D)
	8/29	第5回教育カンファレンス「教育改革を越えて 次のステージへ」 ——Beyond the Education Reform, Step up to the Next Stage. 会場:株式会社内田洋行 東京ユビキタス協創広場CANVAS
	12/14	学校広報スキルアップセミナー第1回(東京・立命館東京キャンパス) 「マスメディアが取り上げたい大学広報の話題」 ※2017年度セミナーは他3回開催。
2018	6/19	大学広報セミナー&ワールド・カフェ(東京・インプレスグループ セミナールーム) 「定員超過抑制の影響と今後の学生募集について」 ※2018年度セミナーは他5回開催
	7/20	GKB書籍第5冊発行 『これからの「教育」の話をしよう4～教育改革×大学広報力』(発行:(株)インプレスR&D)
	8/24	第6回教育カンファレンス「教育改革と動き始めた教育の現場」(東京・明治大学 紫紺館)
2019	4/15	勉強会(埼玉・大宮ソニックシティ) 「新しい大学教育の仕組み、専門職大学を知るための進路勉強会」 ※2019年度勉強会は他1回開催
	8/20	第7回教育カンファレンス「2020年ターニングポイントの先の教育」 会場:株式会社内田洋行 東京ユビキタス協創広場CANVAS
	11/22	GKB会員:2,000名突破
	11/26-28	QS APPLE 2019にて、GKBのブース出展(福岡・福岡国際会議場)
2020	12/18	GKB書籍第7冊発行 『これからの「教育」の話をしよう6～教育改革×コロナ共生時代』 (発行:(株)インプレスR&D)
	3/14	創立10周年記念 大学広報オンラインセミナー第1回 「コロナ共生時代の大学広報を考える」
	3/25	GKB書籍第8冊発行 『これからの「教育」の話をしよう7～動き出した日本の教育』(発行:(株)インプレスR&D)
2021	4/26	創立10周年記念 大学広報オンラインセミナー第2回 「大学広報の基本」 ※2021年度はオンラインセミナーを他3回開催
2022	7/14	勉強会第1回「大学定員超過抑制策の転換の影響と今後の学生募集」(東京・成城大学) ※2022年度勉強会は、小規模人数で対面式とし、他2回開催
2023	7/28	GKB書籍第9冊発行 『これからの「教育」の話をしよう8～進む高・大・社連携』(発行:(株)インプレス)
	8/27	第8回教育カンファレンス 「どうなる日本、どうする教育～探究と高大社連携の可能性」 (東京・明治大学アカデミーコモン) ※ハイブリッド方式で開催

FRONT RUNNER



長年にわたり、最前線で教育機関に特化した支援をしてきた私たちだからこそ、デジタルとリアルを融合した最適なソリューションを提供します。各セクションの課題解決はもちろんのこと、教育機関のあらゆる運営を成功へと導いていきます。

- #学生募集支援
- #入試広報支援
- #各種業務代行
- #イベント企画運営
- #寄付募金支援
- #スポーツ活動支援
- #アルムナイ支援
- #社会地域連携
- #留学生支援
- #就活支援
- #人材サービス etc.

ACCESS Group

株式会社 **アクセス ネクステージ**
<https://www.access-t.co.jp/nx/>

本社	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-15-1 渋谷クロスタワー24階	TEL.03-5774-2330
関西支社	〒530-0018 大阪府北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル12階	TEL.06-6360-7474
名古屋支社	〒460-0003 名古屋市中区錦2-4-3 錦パークビル12階	TEL.052-589-2077
札幌オフィス	〒060-0004 札幌市中央区北四条西5-1-4 大樹生命札幌共同ビル3階	TEL.011-222-5181



if 株式会社 **イフ**
Intelligent Field

サ～ナ
sana

障がい学生就職支援30年以上の実績のもと「働く」をサポートしています

私たちは1992年に民間として初めてとなる障がいの者のための就職情報誌「サ～ナ」を創刊しました。以来、30年以上にわたって障がいのある方に特化した就職支援を行っています。

現代では「ダイバーシティ」という言葉が一般化してきました。人材の多様性を尊重し、誰もが個性を生かして働ける環境が広がれば、障がいの有無に関係なく活躍できる機会も増えます。私たちは就職情報誌や就職情報サイト、イベントなどのメディアを展開することで、障がいのある方の働くをサポートしています。



障がい学生就職支援30年以上の実績

障がい学生のキャリア形成をサポートする多彩なメディアを運営

就職情報誌
サ～ナ
sana

就職情報サイト
ウェブ・サ～ナ
WebSana

合同企業説明会
サ～ナ就職フェスタ

採用企業年鑑
Sana NEWS

サ～ナオープンガイダンス
 インターンシップ・
 企業研究セミナー/フェア

株式会社イフ 〒141-0031 東京都品川区西五反田 8-11-13 五反田マークビル 3F

UCHIDA

Future Class Room®

内田洋行が提案する

未来の教室とは

内田洋行は、学校、行政、学生、研究者とともに
70年にわたって教室のあるべき姿を
追求してきました。

「Future Class Room®」は、内田洋行が、
学生、研究者の視点でデザインした未来の学習空間です。
最先端のICT環境とフレキシブルな教育環境が、
学生たちの学習・研究意欲を刺激します。

TOKYO



OSAKA



FUKUOKA



内田洋行 高等教育事業部

〒135-0016 東京都江東区東陽2-3-25 東日本営業部 ☎03(5634)6441

〒540-8520 大阪市中央区和泉町2-2-2 西日本営業部 ☎06(6920)2493

「いい学校・いい教育・いい授業づくり」を支援します。

www.uchida.co.jp/education



NACK5は
今年で開局35周年を迎えます



株式会社 FM NACK5

www.nack5.co.jp



コミュニケーション価値を最大化に 真のコミュニケーションを体験してみませんか？

株式会社学校コミュニケーションネットワークス

〒105-0004 東京都港区新橋3-9-6
Tel:03-3432-4528
<https://scns.co.jp/>



いつでもどこでも 質の高い学修を

20年間、高等教育機関に特化したeラーニングの開発・運用を提供してきたノウハウと経験を活かし、大学と学生の教育をサポートいたします。各教育機関に応じたカスタマイズが可能です。

eラーニングオンデマンド講座

- データサイエンス/AIリテラシー
- 情報リテラシー
- 日本語表現力基礎
- TOEFL対策
- 医学英語語彙
- 医学英語 Reading
- 入学前準備講座

 **KRYPTON**
株式会社クリプトン

東京都新宿区四谷4-3-12 第12大鉄ビル7F
TEL 03-3353-4411 MAIL info@krypton.co.jp
www.krypton.co.jp

pure
Hawaiian
WATER

Bottled in Hawaii
TOELL U.S.A. CORPORATION

Pure Hawaiian Water starts as rain filtered through porous volcanic rock for 25 years, collecting in natural Artesian aquifer 200 meters deep within the Ko'olau Mountains. From this pristine source, Pure Hawaiian Water is born.

Toell USA delivers safe and pure water to you that is filtered through reverse osmosis. Enjoy the clear and smooth taste of Pure Hawaiian Water.



業容拡大につき「新卒」「通年採用」随時募集中！

TOELL



フリーダイヤル



0120-15-7777

受付時間 9:00～19:00 (日曜日 9:00～17:30)

シスターブランド



株式会社トーエル 〒223-8510 横浜市港北区高田西 1-5-21 【東証上場 3361】

www.toell.co.jp



1993年
に創立。時代の変化、
さまざまな仕事、人の出会い
に導かれ今がある。デザイン業務
とは別に萰崎市の無農薬農家さんと
手作りでピクルスを作ったり、自社
で袋状風呂敷を開発したりと想定外
の展開。Connecting the dots.
繋いで何になるかはわからな
いけどこれからも全力で
打ち込みたい。



ill Design

株式会社アイルデザイン
www.ill-sun.com



中高等学校の広報専門デザイン事務所

オープンキャンパス／学校説明会ポスターチラシ
入試要項／動画制作／web制作

株式会社 キュー・ジー

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-24-1 203
phone : 03-5341-4179 <http://qgg.co.jp>



FSPは、教育機関のICT化に向けて、様々なご相談をお受けいたします。オープンバッジ配布やマガジン等の書籍発行もサポートさせていただきます。
<https://fstar-p.jp/>

2050年の大学を考える

教育機関に、子どもたちの30年後の未来のために今すぐ行うべきことを提案しています。また勉強会やカンファレンスを通して、同じような志（こころざし）を持つ人と人とのネットワークをつくるお手伝いをしています。

主なサービス内容

- 大学広報支援
(コンサルテーション、プレスリリース、SNSを使ったSMART広報®の提案、WEBサイト、学校案内・広告制作等)
- 大学情報の収集・分析・レポートデリバリー
- 大学広報・入試担当者とのチャンネル（人脈）構築サポート
- 高大接続サポート

株式会社 **シンクアップ**
(学校広報ソーシャルメディア活用勉強会事務局)

 Mail info@think-up.jp
Tel. 046-216-8996
<https://think-up.jp>



協賛企業一覧

第8回GKB48教育カンファレンス開催にあたり、多くの企業・団体様のご協力をいただきました。感謝申し上げます。特設サイトのリンクも併せてご覧ください。
<https://gkb48.com/conference2023/>

株式会社アイルデザイン
株式会社アクセスネクステージ
株式会社イフ
株式会社内田洋行
株式会社FM NACK5
株式会社
学校コミュニケーションネットワークス
株式会社QG
株式会社クリプトン
株式会社KEIアドバンス

株式会社高等教育総合研究所
株式会社コミュニティコム
株式会社サーティファイ
株式会社ディスコ
株式会社トーエル
株式会社ネットラーニング
株式会社ロフトワーク

一般社団法人
ファーストスタープロジェクト
株式会社シンクアップ

ブランディングから、 新たな学びの企画・実施まで 大学のこれらを共に考えます。

自学らしさをどう定義し、表現・発信するのか。
ロフトワークは学内外の方と共創しながらプロジェクトを実行します。

ロフトワーク



大学のプロジェクト



Webサイトリニューアル

自学らしさ、それをどう伝えていけばよいのかを定義し、大学の顔となるWebサイトを実装します。

実績 立教大学 中央大学 冲縄大学 京都精華大学 他多数



インナーブランディングのためのWS実施

学部学科・部署を横断した教職協働の大学経営ができる体制づくりのための研修を実施します。

実績 神奈川工科大学



学生向けの講座実施

領域にとらわれず、様々なプロジェクトを企画・実行してきたロフトワークが、デザイン思考や企画力を養成する講座を実施します。

実績 お茶の水女子大学 成安造形大学



ブランディングのための施策実施

より多くの人に関心と共感を喚起することを目指し、イベント、空間、冊子など多様なアウトプットを作成します。

実績 工学院大学 聖学院大学



大学実績ページ

大学の実績

武威野音楽学園 / 神奈川工科大学 / 中央大学 / 関東学院大学 / 成安造形大学 / お茶の水女子大学 / 中部学院大学・中部学院大学短期大学部 / 立命館大学 / 京大オリジナル株式会社 / 沖縄大学 / 近畿大学 / 名古屋芸術大学 / 京都精華大学 / 工学院大学 / 園田学園女子大学 / 津田塾大学 / 筑波大学 / 京都工芸繊維大学 / 明治大学 / 産業能率大学 / 芝浦工業大学 / 聖学院大学 / 慶應義塾大学 / 横浜市立大学 / 大阪医科薬科大学 / 八戸工業大学

※ 順不同 / 敬称略

過去イベントの

アーカイブ配信

立教大学Webサイトリニューアルの成果を紐解く
時代変化に強いサイトへ導く
“コンセプト”の重要性

ユーザー体験の設計から問い直したリニューアルコンセプトが、どのような成果につながったのか？担当者が語る、自学の魅力を伝え続ける運用のポイントとは？時代変化の中で「ありたい大学像」を体現するポイントを、多角的に紐解きます。



株式会社ロフトワーク

渋谷オフィス
東京都渋谷区道玄坂1-22-7 道玄坂ビル 8F/9F/10F

京都オフィス

京都府京都市下京区常小松通五条下ル本塩町554

ロフトワークHP



学校広報ソーシャルメディア活用勉強会 編

GKB48書籍シリーズ 好評発売中！

学校広報ソーシャルメディア活用勉強会（通称GKB48）では、教育カンファレンスの採録や教育関係者へのインタビューを載せた書籍をインプレスグループより8冊発行してきました。執筆者は100名以上に上ります。学校広報はもちろん、最新の教育のトレンドが分かる本となっております。



最新刊 2023年7月28日発売

【会場特別価格】
印刷版 2,400円（税込）

※小売希望価格
印刷版 2,640円（税込）
電子版 2,200円（税込）



カンファレンス会場では、特別価格にて販売します。

Amazonや一般書店のほか、GKBブックストアでもご購入できます。

<https://gkb48books.stores.jp/>

第8回
GKB48教育カンファレンス
プログラム

発行日 2023年8月27日
編集 学校広報ソーシャルメディア活用勉強会 事務局
神奈川県座間市東原4-12-45
株式会社シンクアップ 内
編集協力 株式会社QG